

DV (ドメスティック・バイオレンス) は犯罪となる行為も含む重大な人権侵害です。どんな理由があっても、暴力は決して許されません。また、DV は直接暴力を受けた人だけでなく、暴力を目撃しながら育った子どもにも重大な影響を与えます。

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日(土)～25日(金)

身体的暴力

身体に対する暴力。ほとんどの場合、刑法の傷害罪や暴行罪などに該当する違法な行為で、たとえ配偶者間であっても処罰の対象となります。

- 殴る
- 蹴る
- 平手で打つ
- 髪を引っばる
- 首をしめる
- 引きずり回す
- 物を投げつける
- 刃物などを体に突きつけるなど

性的暴力

- いやがっているのに性的行為を強要する
- 避妊に協力しない
- 見たくないのにポルノビデオを見せる
- 裸の写真を撮るなど

経済的暴力

- 生活費を渡さない
- 外で働かせない
- 借金をさせる
- 借りたお金を返さない
- デート代を常に払わせるなど

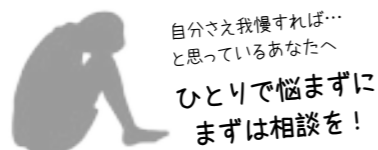
精神的暴力

心無い言動等により相手の心を傷つけるもの。精神的暴力の結果 PTSD (心的外傷後ストレス障害) に至った場合は、刑法上の傷害罪として処罰されることもあります。

- 口汚くののしる
- 無視する
- 大声で怒鳴る
- 脅かす
- 侮辱的発言で傷つける
- 人前で馬鹿にしたり、恥をかかせる
- 支配・独占をしようとする
- 外出・電話を制限する
- 浮気を疑って責める
- 行動を監視する
- 勝手に携帯電話をチェックする
- メールやアドレスを勝手に消すなど

子どもを利用した暴力

- 子どもに暴力をふるう、悪口を吹き込む
- 子どもの前で暴力をふるう
- 子どもを取り上げると脅すなど



福岡県が平成26年度に行った調査では、配偶者や交際相手からDVを受けた経験がある人は女性で27.7%、男性で13%、全体で21.4%と、5人に1人が被害を受けた経験があると回答しています。

配偶者や交際相手からの暴力で悩んでいたら、一人で悩まずにお気軽に相談ください。あなたのまわりに暴力を受けている人がいたら、相談窓口を教えてください。

福智町男女共同参画窓口

月～金 ▶ 8時30分～17時15分
☎ 22-0555 (役場総務課人事係)

配偶者からの暴力相談電話

月～金 ▶ 17時～24時
土・日・祝 ▶ 9時～24時
☎ 092-663-8724

田川保健福祉事務所

月～金 ▶ 8時30分～17時15分
☎ 42-4850 (配偶者からの暴力相談専用)

あすばる女性相談ホットライン

月～金 ▶ 9時～17時
※ 土(祝除く)のみ18時～20時30分も可
☎ 092-584-1266

配偶者や交際相手からの暴力に1人で悩んでいませんか

福智の風 編集後記

▶ 炎蓮太鼓では保護者が練習や行事に付き添い、チームの子ども達をお世話していました。秋祭りでは地域の女性が朝早くから炊き出しし、昇き手に元気を与えていました。ある地域では1日10升のお米を炊いたとか。何でもそうですが裏で支えてくれる人の存在があることを忘れず、日々感謝の心を持ち続けていきたいです。(日吉)

▶ 今年は神崎の山笠も出て、2週にわたって行われた神幸祭。練り回しや坂道で、人数が少ない地区の山笠を他の地区がカバーするシーンもありました。少しずつ昇き手の数が減っているそうです。必死に声を出し山笠をひく子どもたちが次の世代にも受継いでいき、伝統の祭がいつまでも町を盛り上げる一大行事であってほしいです。(伊森)



金田駅前を練り歩く山笠
提供者 ● 宇野 等さん
撮影日 ● 昭和40年頃

歌舞伎や軍記もの名場面が人形師の手によって美しく飾り付けられた豪華絢爛たる山笠。五穀豊穡・子孫繁栄を願い、感謝する神幸祭は、今もなお地域をつなぐ大切な行事です。

昔の写真を探しています！
☎ 22-0555

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

赤池隣保館句会
池田一歩選

酔客の声に虫の音はたと止み
独り居に馴れねばならぬ虫の声
蘆原の河童のもしや筑後川
初物として隣から柿二つ
青空を広げてをりし鴨高音
数珠玉や戦中戦後したたかに
幸せな心広がり小鳥来る
枝影を湖に落して暮の秋
紛れ来し部屋に二夜のきりぎりす
夫や娘に恙癒やされ菊枕

丸山 鈴子
熊谷カツミ
千手 弘子
大久保幸子
水上 翠人
米原ふさ枝
芳野もと子
石井 恵子
小場 妙子
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室
岩井鬼童選

案山子の眼夜は満天の星を守る
頂上をめざすピツケル天高し
輝きはロマンの数や星月夜
賑やかな浜辺も今は秋の海
田も畑も笛の音聞けよ秋祭
交番に朝顔の蔓からまりて
四阿は石のテールブル小鳥来る
初秋の駅に集ひし旅の貌

建部三由紀
松岡 萬枝
西田 真美
岩井 童子
小川 雪
新 芳枝
小野 美幸
加藤きみ子

方城句会
池田一歩選

孫の文吾を気遣ふ秋の暮
古民家の破風の鏝絵や秋高し
葛の花見上げる高さ句ひけり
結界の芙蓉は酔ひて茶会終ゆ
萩散るや観世音寺の鐘の聲
よちよちと舵とる孫に秋の蝶
いただきし新米先は御先祖に
露の玉傾ぐ重さのありにけり
刈り終へし棚田の風の曼珠沙華

倉石 小夜
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冴子
藤井耿之介
山本恵美子
渡邊 一枝
尾崎 和子
木村 誠一

小雨降る空港飛びたち雲海を抜ければ中秋の名月浮かぶ
さわやかな早秋の風に木の葉舞ふすぐる猛暑は偽りのごと
稲刈の始まる頃の赤トンボ今年は見えず淋しきことよ
涼風の窓より入り来て清すがし肌にあざしくクーラー要らず
猛暑にたえ吾とたつぷり水振りて長き秋なす家族賄う
みあげたる空に一面いわし雲季節の変るを知らせてくるる
藪を分け猪より早く乗の木へ竹竿で実をたたき落すべく
閉山となりて五十年ボタ山の麓に木槿のくれない淡し

村上 美幸
越智 早苗
桑野 昭子
三村 和子
福田キヨ子
白石 信子
白石 清和
福田 昌

ともしび短歌会短歌詠草